

□■養成所ニュースプラス 45 号 2026□■

強い寒波により全国的に気温が低くなっています。寒さ対策は万全ですか。加えて、寒さの厳しい地域の皆さんは突然の大雪や路面凍結に、乾燥する地域の皆さんは、火の元に十分気を付けてお過ごしください。試験日が近づいています。

今回の人物に関する○×問題は「ソーシャルワーカーの理論と方法」からの出題です。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるか、合わせて考えてみましょう。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【ソーシャルワークの理論と方法○×問題】

1. ピンカス（Pincus, A.）とミナハン（Minahan, A.）は、生態学的視座に立ち、人が環境の中で生活し、社会的にも機能していると説いた。【第 33 回問題 98】
2. シュワルツ（Schwartz, W.）は、グループワークの 14 の原則を示し、治療教育的グループワークの発展に貢献した。【第 33 回問題 113 改変】
3. コノプカ（Konopka, G.）は、ソーシャルワーカーの役割を、メンバーとグループの媒介者とし、相互作用モデルを提唱した。【第 33 回問題 113 改変】
4. ロス（Ross, M.）のコミュニティ・オーガニゼーション説は、地域における団体間調整の方法としてのインターグループワークを提唱した。【第 32 回問題 101】
5. ロスマン（Rothman, J.）の社会計画モデルとは、住民や当事者が求めるサービスや資源の提供を達成するために地域のニーズを調査して、サービス提供機関間の調整を図る方法である。【第 36 回問題 108 改変】

■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(36 期生) 住所変更後、変更届を提出していない場合はご提出ください。
- ・(37 期生) 教育訓練給付制度（専門実践教育訓練）の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・受講の手引の表紙裏（表紙の次のページ）に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第 38 回国家試験は、令和 8 年 2 月 1 日（日）です。
詳しくはこちら→<https://www.sssc.or.jp/shakai/gaiyou.html>
 - ・令和 7 年 12 月 12 日に、第 38 回社会福祉士国家試験の受験票が東京都内の郵便局から投函（郵送）されました。
詳しくはこちら→<https://www.sssc.or.jp/shakai/index.html>
 - ・本養成所主催、「受験対策講座」は web にて開催中です。
12 月 26 日（金）より、全ての「受験対策のポイントを中心とするガイダンス」が視聴可能となりました。また、12 月 19 日（金）より国家試験直前対策講座（有料）の視聴が開始となりました。是非ご活用ください。
受験対策ページへアクセスはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=5529
- ※「国家試験直前対策講座（有料）」については、受講確定者に対してご案内（受講確定通知）を郵便及びメールにて送付していますので、確認のうえご受講ください。

■Plus Info・・・・・・・・

その他の情報をお届けします

・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<http://www.aigo.or.jp/>

・本養成所では、皆さんの後輩にあたる第 38 期生の出願を受け付けております。

現在、3 期募集を受付中です。皆さんの周りで社会福祉士取得を目指している方、関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、是非とも本養成所をご紹介くださいますようお願いいたします。

出願手続き等についてはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=111

資料請求についてはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=321

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→http://www.aigo.or.jp/yoseijo/?page_id=2686

■Plus Column

【受験対策ミニ講座第 19 号／先輩からのメッセージと体調管理（食事の留意点）】

まずは、試験に向けて踏ん張る皆さんに、試験直前や当日の対策について先輩からの体験談を紹介します。先輩からのメッセージを力に換えてください。

◆シンプルでわかりやすくコンパクトなものを、直前から当日会場でも繰り返し読んだ。

→自身の要点整理ノート、ふくし合格ネットの PDF 教材、国家試験キーワードチェック、頻出項目チェックテスト、メルマガの問題を貼ったノート、書き込んだソーシャルワーク関連年表等◆2 週間前から不規則な生活はやめて睡眠を確保した。◆直前期は、当日使う腕時計で時間を計って問題を解いた。

◆当日迷ったときは考え込まず答えを決めて、次に進むようにした。◆問題文を読んだら必ず、「1 つ」や「2 つ」に丸を付けて確認した。◆見直しの時間では、内容よりも先に、選んだ選択肢の数を確認した。◆マークミスで合格に 1 点足りなかった。試験の時間配分は事前に考え、見直す時間も大事。◆当日会場が始まる前に見直した 2 か所、前日に確認した 2 か所が試験に出た。◆残りの日々は、いかに試験への気持ちを切らさないかが大切だと思った。◆最後の最後まであきらめないこと◆スクーリングの仲間に LINE で支えてもらい、ありがたかった。

次は、今日から試験日までの食事の留意点をお伝えします。

脳の栄養補給にブドウ糖類（ご飯、パン、麺類）、免疫力維持に体を温めるもの、そして、疲れた胃に負担をかけない消化の良いものを取るようにしましょう。特に、前日は、普段食べ慣れていないものや油の多い揚げ物など（景気づけの生ものや験担ぎの豚カツ等）を食べるのは避けたいものです。

当日午前中は科目数も多く試験時間も長いので、消化の良い温かい朝食をしっかり取ることにしましょう。一方、午後の時間は短いので、昼食は腹五分目程度の軽いものや食べ慣れたもので済ますのが無難です。神経が高ぶると空腹さえ感じないものですが、集中力保持のため、チョコレートやドライフルーツ等糖度の高いものを少し口にするのも良いと思います。急な血糖値上昇は眠気を呼ぶので、食べ過ぎには気を付けてください。

19 科目合計 3 時間 45 分間の試験は、身も心もへとへとになります。最後は、体力、気力の勝負です。当日集中できるよう、十分に気を付けて万全の体調で臨みましょう。

いよいよ次回は試験直前号です。当日の持ち物と留意点についてお伝えします。

【Plus Quiz 正答と解説】

「ソーシャルワークの理論と方法」では、人名と業績等が 5 つの選択肢に並ぶ問題が 32 回から 34 回まで出題されてきました。しかしこの 3 年間は、ある人物の実践アプローチや提唱した考え方を選択肢から選ぶような問題が続いています。

7 原則で有名なバイステックは、「援助関係の原則」について単独問題として問われたり、アイビーの面接技法と一緒に選択肢になったりしています。ピンカスとミナハンも「4 つの基本的なシステム」について単独問題として取り上げられたり、人と環境の関係を提唱したホリスやバートレットと共に選択肢に並んでいます。

グループワークやコミュニティワークでは、システム論や実践モデル・アプローチと異なり、取り上げられてきた人名

は少ないので確実に理解していきましょう。

1. ×人と環境に関するソーシャルワーク理論を問う問題です。選択肢は、ジャーメイン（ Germain, C.）の説明です。ピンカスとミナハンは、ソーシャルワーカーが所属する「チェンジエージェント・システム」、支援を必要とする「クライエント・システム」、介入の対象となる「ターゲット・システム」、ソーシャルワーカーの支援に協働する「アクション・システム」という 4 つの基本システムを提唱しました。
2. ×グループワークの理論と提唱者を問う問題です。選択肢は、コノプカの説明です。シュワルツは、個人と社会の相互作用に焦点を当て、双方ともに支援しようとする点に特徴があります。ソーシャルワーカーは媒介者や情報提供者として役割を果たします。
3. ×選択肢は、シュワルツの説明です。コノプカは、個人の社会生活上の問題解決を、小集団がもつ治療的機能に着目し、グループワークの原則として 14 項目を挙げています。
4. ×コミュニティ・オーガニゼーションの理論を問う問題です。選択肢は、ニューステッター（Newstetter,W.）の説明です。ロス は地域組織化説を提唱し、問題解決そのものではなく、住民同士の民主的な話し合いのプロセスによって合意形成を図る等のプロセスを重視し問題解決に向け行動を起こすことが重要であることを強調しています。
5. ○ロスマンは 1960 年代に「小地域開発モデル」「社会計画モデル」「ソーシャルアクションモデル」という 3 つのコミュニティ・オーガニゼーション実践モデルを提起しました。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus